

平成26年度 仙台市小学校長会生徒指導研修会

シー・アンド・シー・イノベーション有限会社代表取締役・臨床心理士・心理修士の時盛昌幸氏を講師にお迎えし、平成26年度の仙台市小学校長会生徒指導研修会が11月20日仙台市教育センターで開催されました。

平成26年度 仙台市小学校長会生徒指導研修会

平成26年11月20日(木)

10:00~11:30

仙台市教育センター大研修室

- 1 開会のあいさつ 仙台市小学校長会会長 針生 弘
- 2 講師紹介 仙台市小学校長会副会長 佐藤 悦雄
- 3 講演

演 題

「スクールカウンセラーの視点と対応の実際」

講 師

シー・アンド・シー・イノベーション有限会社 代表取締役
臨床心理士・心理修士 時 盛 昌 幸 氏



- 4 閉会のあいさつ 仙台市小学校長会生徒指導部長 菊地 博

< 講演 の 概 要 >

1 スクールカウンセラーの視点について

(1) 臨床心理士として組織を見る，個人を見ること

- ・ 個人を見る→個人が何を悩み，どういう解決策を図っていけば，この人のなりたい自分を達成できるのかということを見ていく。
- ・ 組織を見る→どこから問題行動が生み出されているのかを見ること。

ポイント→個人のせいにして問題も解決しないので，その個人がなぜできない状況に追い込まれているのか考えることが重要である。

組織で対応するという事は，みんなで助け合い，できないことを補うことに意味がある。

うつ病になる人の割合は，公務員，教師，大企業に多い。組織として見ていく中でどうしたらその人を使えるようにするかという視点で見ていく。

組織的に全体のパワーをどう上げていくか，あらゆる問題に対処する組織的な関わりを考えていく必要がある。加えて，個別に見ていく。



(2) 相手のことを「分からない」ことを前提に見るようにしていること

- ・ 見かけや見えている部分だけでは，判断することが難しいので，先入観なしに，子供を見ていく。そのことで，正しい情報が入ってくる。
- ・ 情報を仕入れるルートをたくさん持つことが重要であり，本当の子供の姿を考えながら情報収集をしている。

(3) P D C A サイクルで進めていること

- ・ 仮説検証プロセスでカウンセリングを進めている。前提に目の前の対象を見て，データを収集し，仮説を立てる。そして，仮説に基づき，介入する。
- ・ カウンセリングは，仮説修正のプロセスであり，あらゆるものに使える。組織を見るときにも意識しながら使っている。
- ・ 常に仮説は修正されるべきであって，P D C A サイクルによって，自分たちの正しい目的地にたどり着くことができる。P D C A サイクルに基づいて組織と個人を見て，「分からなさ」を前提にしたコミュニケーションを行う。

- ◎ スクールカウンセラーとして，「学校でどう関わればいいのか」という点について自分が管理者であり，スクールカウンセラー，外部の専門家が学校に入ってきたときに，自分だったらどういふことをしてほしいか，または，自分だったらどういふ情報を入れてほしいかを考えた結果，組織と個人の視点の両方を持ち，あらゆる情報をトップの校長に提供していく。

2 スクールカウンセラーの対応の実際

(1) スクールカウンセラーの仕事

- ・ 子供を学校本来の居場所に戻すための支援であり，担任への支援である。
- ・ 心理療法で，心理的な問題を解決し，支援することであり，カウンセリングをすることではない。

(2) 1日の流れ

- ・ 朝8時出勤。30分は準備の時間。
- ・ 朝のうちにミーティングを校長・教頭・教務主任と行う。1週間の出来事や何をしてほしいのかを確認する。→朝のうちに分かれば，午後には対応が可能となる。
- ・ ミーティングを踏まえて，子供たちの行動観察をする。
- ・ 業間時間→担任と情報交換。昼休み→子供たちと遊ぶ。
- ・ 給食時間→全部の学級に入り，給食を子供たちと食べる。
- ・ あらゆる場面で見える部分を増やし，気づきを担任にすぐに伝える。
- ・ 保護者との面接を行う。
- ・ 活動が終わったら，また朝と同様にミーティングを行い，スクールカウンセラーが来ない日をどう過ごせばいいのか，伝える。
→PDCAサイクルに基づき，毎週仮説を立てて，実証していく。

(3) スクールカウンセリングについて

- ・ スクールカウンセリングは，ジョイニングを基盤に4つの要素で成り立っている。
ジョイニング→可能な限り相手との接点を増やし，仲良くなり，組織に入るということ。
- ・ スクールカウンセリングは4つの柱がある。→行動観察，スーパービジョン・コンサルテーション，カウンセリング，その他の活動。
- ・ 基本は，行動観察とコンサルテーションである。
- ・ 行動観察について
複数の場面で行う。→変化に気を配る。
→授業中，休み時間，放課後。
→掃除，服装，名札と靴，ランドセルの置き方，掃除の後の机の整頓，落とし物
→定点観察
行動観察の基本的な見方→行動には必ず理由がある。
- ・ コンサルテーションについて
担任や学校が悩んでいる子供の問題行動や事象について，応用行動分析をして，仮説→実行→修正のプロセスを繰り返す。
- ・ スクールカウンセラーの最大の意義は，問題に対して組織で対応するシステムを構築し，会議を行うこと。
- ・ カウンセリングの3つのポイント
○根本的な問題に焦点を当てない。原因に触れないで，違うところで解決を図る。
○悩む力を取り戻させること。
○スクールカウンセラーに何か期待するものがあると思わせること。
- ・ その他の活動について
教職員，PTA対象の研修会の開催
クールダウンさせるなどの子供対応

